

# 週報

国際ロータリー  
テーマ

奉仕を通じて  
平和を



Vol.46 第2260回例会

2013.4.25

今年度会長テーマ

和で輪を広げ、前に進もう

■司会：  
戸澤例会運営委員



■点鐘：中丸会長

■合唱：ロータリーソング  
「それでこそロータリー」

◆ソングリーダー：  
荻野会員



■会長報告

中丸会長



皆様こんにちは。今日は昨夜からの雨も上がり、暖かい快適な天気になりました。本日も先週に引き続きクラブ協議会による地区協議会報告がございます。皆様のご報告を楽しみにしておりますので、宜しくお願い致します。

さて、最近の天気予報がかなりの確率で正確になっているように感じているのは私だけでしょうか。これには故障して使用出来なかった気象衛星の再運用や、コンピューターの気象解析等の能力向上が貢献していると考えられます。私が良く天気予報を調べるのはゴ

ルフに行く前日です。WEB上の日本気象協会TENKI-JPとウェザーニュースで調べます。これらを使うと3時間ごとの天気、気温、風力と風向き、湿度等が解りますし、市町村単位で調べることが出来ます。更に詳しく見たい場合は町単位でも可能です。両方を見比べると違いがあることもあります。因みに昨日の天気予報に関しては、日本気象協会のほうが正確でした。どちらが正確か等比べてみるのもまた一興ではないでしょうか。

■幹事報告

野村(高)副会長



■国際ロータリー日本事務局：  
2013年5月のロータリーレート 1ドル98円

■ガバナー事務所：

- ・「ロータリーの友」地区代表委員からのDVDの受理  
「ロータリーの友」地区代表委員会会議で配布された、ロータリーの友編集長・二神典子氏の第2690地区雑誌・広報セミナー講演
- ・東ヶ崎潔記念ダイアログハウス募金趣意書と田中作次RI会長の依頼文の受理
- ・リスボン国際大会第2750ガバナーナイトの案内の受理  
2018年6月24日(月) 19:00～  
於 フォーシーズンズホテル リッツ・リスボン  
会費 20,000円
- ・リスボン国際大会「投票代議員カード・信任状」記入見本の受理
- ・「地区納めの会」案内の受理  
2013年6月28日(金) 18:00～  
於 ホテルグランドパレス  
(リスボン国際大会参加中になります)

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／石山 敬

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101  
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166

- ・第2510地区第23回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会について  
2013年6月17日(月)  
於 恵庭カントリー倶楽部  
参加登録料 15,000円 プレー代11,000円位

- 国際奉仕委員会：  
国際奉仕委員長会議の案内の受理  
2013年5月27日(月) 15:00～  
於 ハイアットリージェンシー東京

- 青少年交換委員会：  
次年度(在京)地区青少年交換会議の案内の受理  
5月29日(木) 15:00～17:00  
於 国立オリンピック記念青少年総合センター

- 米山奨学委員会：  
・地区米山奨学委員会(新旧合同)の案内の受理  
①2013年5月10日(金) 15:00～17:00  
於 ガバナー事務所  
②2013年5月24日(金) 15:00～17:00  
於 ガバナー事務所  
・(在京)会長エレクト・次期クラブ米山委員長セミナーの案内の受理  
2013年6月5日(水) 15:30～  
於 ハイアットリージェンシー東京

- クラブ奉仕委員会：  
国際ロータリー第2580地区2013～14年度ロータリアン卓話者リストの受理

- 東村山市緑を守る市民協議会：  
平成25年度総会の案内と第24回春の緑の祭典開催の案内の受理について  
総 会 4月23日(火) 於 東村山市役所  
緑の祭典 4月29日(月) 於 都立東村山中央公園 10:00～

- 社会奉仕委員会：  
2013～2014年度地区社会奉仕委員会開催の案内の受理  
第3回会議 5月23日(木) 15:00～17:00  
於 ガバナー事務所

- 回覧：  
所沢中央RC週報  
やまだの作文(東日本大震災被災地の文集)

- 前々会メイクアップ者：  
赤木会員：地区協議会  
野崎会員：地区協議会  
當麻会員：東大和RC

## ニコニコBOX 山宮クラブ管理員



- ◆中丸会長、赤木幹事：  
本日も地区担当の委員長さんよろしくお願ひします。
- ◆五十嵐会員：  
昭和4年4月24日生まれで昨日満84歳の誕生日でした。皆様のお陰と感謝しております。これからもよろしくお願ひします。
- ◆山宮会員：  
娘が無事、小学校に入学できました。彼女が20歳の時、私は60歳。下の子が20歳の時、私は63歳になります。一生懸命働きたいと思ひます。
- ◆菱沼事務局：  
今日は早くから山本さんと北久保さんにワゴンの脚(ローラー)を2台とも直して頂きました。とても助かりました。ありがとうございました。

本日のニコニコ合計： 17,000円  
累 計： 1,171,100円

## 委員長報告

- 山本地区オン・ツー・リスボン副委員長



皆様、こんにちは。リスボン世界大会の日程は6月22日～29日ということで目前に迫っております。リスボンへいらっしゃる皆様は、健康状態に気を付けて元気に行けるようにして頂きたいと思ひます。

大まかな予定ですが、22日の成田出発が11:00頃の飛行機になります。行きは東京交通の中條さんにお骨折り頂き、無理を言って安いお値段で手配して頂きましたので、ぜひ皆さんの方からもよろしくお伝え頂きたいと思ひます。帰りは29日の朝早く9:00頃に成田に到着予定です。お昼ごろには東村山に戻ってくると思ひます。おみやげを忘れないように、しっかり抱えて帰ってきてください。石川ナイトですが、皆様のご協力

## 出席報告 相羽例会運営委員



| 在籍会員数 | 出席 | 免除 | 欠席 | 出席率   |
|-------|----|----|----|-------|
| 31    | 25 | 0  | 4  | 86.21 |

- 前々回メイクアップ修正後前々会欠席：0名
- 前々回出席率メイクアップ修正後：100%

のおかげで100名を超える大人数になりました。当クラブからは、皆さんご出席になっていきますので、ぜひ楽しんでいただきたいと思います。

行程は、日本を旅立ち、ポルトガルのリスボンに2泊します。2日目は本大会になるのですが、本大会の時間がまだはっきりと発表されていません。本大会の時間が優先ですから、それによって観光などの予定時間が動く可能性がありますのでご了承ください。その後、リスボンから南へ下りてセビリアに移りまして、グラナダへ行って、上がってマドリードへ。そこから飛行機に乗って帰路につきます。おいしいものを食べて、素晴らしい景色や美術品などもたくさんありますので、カメラをお持ち頂きたいと思ひます。

また、ポルトガルやスペインはとてもスリが多いので、スリ対策には気を付けて頂きたいです。観光客だとわかる格好ですと、2~3人の集団で来て囲んで「汚れがついていますよ」「荷物持っていてあげますから、水道で手を洗ってはいかがですか」と声をかけ気が付くと荷物ごとなくなっているとか、男性の方に多いらしいのですが、妊婦の方2~3人できて「ちょっと具合が悪い」などと話しかけてきたりして、鼻の下を伸ばしているのごっそり持っていられる、このような形のスリもあります。あと、子供を使って安心していると盗られたり、バッグを切られたり、などいろんなスリがあるので、ぜひお金の管理は気を付けて頂きたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

#### ■飯田会員



皆さん、こんにちは。4年間お留守をして皆様方にご迷惑をお掛けし、大変申し訳ございませんでした。4年間は、京都にある医療専門学校に講師として毎週木、金曜日に教鞭を取っていました。今年の3月20日付けで授業は終了しましたが、年に4回、秋と冬に実技認定試験の審査員で通うこととなります。

学校は京都の中心地で、地下鉄烏丸線烏丸御池駅より徒歩1分の所にあります。経営は、慈恵学園グループで全国に60校を経営するマンモス学校です。京都の学校は、柔道整復科(接骨院)、鍼灸科、理学療法科(P.T)、作業療法科(O.T)、視能訓練科、言語聴覚化、トータルビューティ科、スポーツ科学科の8科の学校です。私は、柔道整復科の実技で包帯固定学を担当していました。主に外傷の固定(ギプス、シーネ、包帯、三角巾、テーピングなど)を教えていました。

京都では夜の勉強はあまりしませんが、先斗町、祇園が徒歩10分の所にありますので、夜の食事はロータリーの皆様の為に毎週探しておきました。近いうちに皆様と京都に旅行出来たら幸いです。

余談になりますが、私のお世話になった学校の理事長(近藤正臣氏)がR.Iの理事をやっていたら良かった方でした。理事長に「私の講義はロータリーのメーキャップになりますか?」と聞いたところ「OKですよ!」と了承して頂きましたので、4年間はメーキャップという形でご勘弁ください。ありがとうございました。

## ■3分間スピーチ

#### ■発表者紹介:

山本職業奉仕委員長



皆さん、こんにちは。本日のスピーチは山宮会員に願ひ致します。3分間スピーチよろしくお願ひ致します。

#### ■山宮会員



皆様、こんにちは。本日の3分間スピーチ、ご指名によりお話しさせていただくことになりましたので、謙虚に一生懸命やらさせていただきますので宜しくお願ひ致します。

今年も当金庫には、約100名の新入社員が入庫(入社)しました。東村山支店には男性1名、女性1名の計2名です。とても初々しく、希望と不安が身体からにじみ出ております。今、自分の新入社員時代(約25年前)を思い返しますと、随分環境が変わったことに驚かされます。

金融の自由化で業務も随分広がってきて、私の頃は預金、融資、為替など3つぐらいの業務でよかったのですが、現在はこれに加え、投信、保険などいろいろと入ってきました。それと同様に、アナログ社会からデジタル社会へ移行し、パソコンが絶えず付きまとうようになり、今の若い人は年々覚えることが多くなっております。同様に、私の同世代や先輩方には、デジタル化の移行により戸惑いをみせる人も少なくなく、未だに課題とされている人もいらっしゃいます。

そして何より「法律」です。当然、お金を扱う仕事ですから硬いイメージがあると思いますが、それでも昔は「まあ、これ位」「知らない中じゃないから」「信用しているから大丈夫よ」なんて言葉が少なからず通用した時代だったように思ひます。しかしながら、今は雇用の面等で「法」に守られている反面、違反(大半はミスですが)等では容赦なく罰せられます。当然ですが、大変な時代です。

先日、約20年前に担当していた商店街を歩いてみましたが、約半分ぐらいのお店が閉まっていた。来年には開発が進み、残っているお店も全て閉店するそうです。とても寂しい限りです。

それでも、やはり変わらないもの、それは「人と人の繋がり(=縁)」であると思ひます。金庫生活では、八王子市、日野市、相模原市、武蔵村山市、多摩市、町田市、そして東村山市と7つの市でお客様を担当させていただきました。信用金庫に入庫したからこそ、多くのお客様と出会い(=縁)を作る事ができたと思ひます。出不精の私には大きな財産です。

余談ですが、今、皆様のところに訪問させて頂いている営業担当がおりますが、彼が5歳(25年前)の時に自

宅を訪問させていただいておりました。また、国立支店から2月の異動で女性が来たのですが、彼女のフィアンセ(6月結婚)が1歳の時に、やはり自宅に訪問させていただいておりました。不思議な縁です。

東村山支店には、あと何年いられるかわかりませんが、皆さんとお会いできた「縁」を大切にしていきたいと思い、引き続きのご指導をお願い申し上げます。

## ■クラブ協議会

■司会：野村副会長



■山本次年度  
地区社会奉仕委員



地区の社会奉仕委員会の活動方針を発表したいと思います。

まず地区協議会の目的は、「次期クラブ指導者が就任の準備を整え、指導者チームを結成することおよび、クラブ指導者との協力関係を築く機会を地区ガバナーエレクトと次期ガバナー補佐、および地区委員会に与えることにある。(手続き要覧2010年：重要なロータリー用語集より)」と難しい言葉で書かれています。

簡単に言うと、指導者というのはクラブ会長です。私たちは次年度ガバナーの方針にのっとりながら R I、ガバナー、地区から発信されるありとあらゆる情報を綿密に伝え、クラブ会長が少しでも動きやすく情報を得て活動ができるように、その手助けをするためにあるのが地区委員長という解釈だそうです。ですから、私も含め、地区委員の皆さんで地区の情報、R Iの情報、ガバナー、ガバナーエレクトの情報をどんどん伝えていきたいと思っております。主権はあくまで自クラブにあります。どのようにその情報を使って動かすかはクラブ会長が決める、理事会が決める、活動していくことになると思っていますので、情報を大いに活用していただきたいと思っております。

次年度のロン・D・バートン R I 会長は、～ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を～というタイトルで「地域社会の問題を自分自身の責任として受け止め、それに基づいて行動し、イニシアチブを発揮し、最善の努力をする」というクラブ目標を掲げておられます。

<地区委員会の基本方針>

- ①活動の企画及び実践の主体はあくまでクラブである。
- ②地区委員会はクラブの活動が円滑に出来るようサポートする。
- ③ R I の情報やガバナーの方針を各クラブに伝達する。

<地区委員会の活動内容>

- ①各クラブの社会奉仕活動(環境保全含む)のサポート
  - ・活動状況・情報の共有化
    - アンケートの実施(クラブ、地域での活動の把握)
    - 研修会の実施(各クラブの活動を把握した上での)
    - ロータリーらしい社会奉仕活動の探求
  - ・ R I 財団への補助金申請のサポート
- ②東日本大震災復興への継続的支援活動のサポート
  - ・「ロータリー希望の風奨学金」の地区内への周知
  - ・各クラブの活動のサポート

[参考]

地区大会決議第4号：東日本大震災からの復興に向けて支援活動を継続して行う件

2011年3月11日に発生した未曾有の大震災と、それに伴う原発事故の被災地が1日でも早く復興することを願い、当地区が他地区と協力して実施している「ロータリー希望の風奨学金」プロジェクトを中心に今後も復興支援活動を継続して行うことを決議いたします。
- ③職場体験・講師派遣・インターンシップのサポート
  - ・地区内クラブの受け入れ企業、講師等のデータ更新
  - ・インターンシップについて東京都及び2750地区との連携
  - ・各クラブへの情報提供、現状と課題についての意見交換、改善策の検討

■荻野国際奉仕委員長  
代理



今回はじめて発表させていただくことになり、たいへん勉強になりました。ロータリーに入って1年半経ちますが、だんだんロータリーに染まっていく自分がこわいです。今日のネクタイは地区協議会の会場で買いました。例会に出る度にこのネクタイをしてあげたいかなと思います。

4月10日の2012-2013年度国際ロータリー第2580地区協議会は相羽国際奉仕委員長の担当ですが荻野が発表させていただきます。国際奉仕部門のリーダー岡崎さん、サブリーダーは吉田さんです。

奉仕活動内容を5名の方より各地区で説明いただきました。1番目に中央分区の中塚さんが、「例会を英語でやりましょう」ということをおっしゃっていました。また、ポリオ、エイズ撲滅に協力しているということでした。2番目は北分区の青木さんより、ダムを作ろうと始めた「タイ水資源プロジェクト」についてのお話がありました。3番目は東分区葛飾の秋山さんが、台湾と韓国との交流を図り、国際理解と親睦に努めているということをお話しされました。次に武蔵野分区、小平の浜田さんからは、小平には大学が4つあり、20か国から2,000人の大学生が来ているそうです。その中で小平市に携わるようなプロジェクトはないかなということ、学生たちで町おこしのプロジェクトを組んでやっているそうです。最後に多摩分区、福生の方が「例会は出席率99%を目指している」と言われていました。東村山についてはみなさんご存知だと思いますので担当より、また後日発表があると思いますので省略します。

先日の協議会でも「友愛」ということを言っておられました。私が感じることは、東村山の皆さんは高級な

方たちだと思います。聖福寺の国宝以上だと思います。ロータリーの中でも最高レベルの、素晴らしい人たちの集まりだと思っています。私も恥じないように一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。ありがとうございました。

#### ■中條次年度新世代奉仕 委員長



「新世代」という言葉はルイス・ビセンテ・ジアイ元R I 会長が初めて発信されました。ジアイ元会長は若い人々にロータリーのプログラムにもっと参加してもらうことこそロータリーの将来を確かなものとするカギであると確信され1996年カルガリーでのR I 国際大会でスピーチされました。「成功と失敗を分かち要素は未来へのビジョンです。これは今、かつてないほどの真実であり、新世代は未来への投資です、今日から未来を築こうではありませんか！」

2010年4月にシカゴで開催された2010年度規定審議会において、四大奉仕から五大奉仕として新世代奉仕部門を加える手続きが決議されました。標準クラブ定款第5条にて「奉仕の第五部門である新世代奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を含め育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。」と規定されています。

新世代奉仕の常設プログラムには、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLAプログラムがあります。インターアクトは12~18才までのクラブで、ローターアクトは18~30才までのクラブです。2580地区では、インターアクトは11クラブ、ローターアクトは9クラブ、青少年交換は10名です。その他、中学生の職場体験、高校生のインターンシップは社会奉仕委員会主導で行われています。

#### ＜地区新世代奉仕委員会の方針・活動＞

各クラブの自主性を尊重し、新世代奉仕の窓口として、皆様の活動のサポートをすることを基本とし、ご一緒に熱意と愛情を持って新世代奉仕を実践し、エンジョイされることを願い活動させていただきます。

- ・地区のインターアクト、ローターアクト、青少年交換各委員会との情報共有、連携強化を図ります。
- ・地区の活動状況を各クラブへ情報発信し、一方各クラブの活動を報告頂き、クラブ間の活動情報の共有化に務めます。
- ・インターアクト、ローターアクトを提唱されていないクラブにも活動を知って頂き、若者達との交流及び協働機会を提供します。
- ・事業の継続性及び活性化を考慮し、組織を一部改変して副委員長による専任担当制と委員任期3年制の導入を実施致します。

#### ＜各クラブ、新世代奉仕ご担当者、そして全ロータリアンへのお願い＞

- ・卓話のご依頼をお願いします。(9月の「新世代月間」のみならずご依頼はいつでも)
- ・活動状況をクラブ例会で発表ご紹介をお願いします。(逐次、地区の活動情報をお送りいたします)

- ・新世代奉仕関連の活動報告会には是非ご参加下さい。(インターアクト、ローターアクト及び青少年交換の年次大会的なイベントは別途ご案内致しますので、クラブで提唱されていなくとも是非ご参加ください)
- ・新世代の活動現場を体感され、次代を担う若者達と交流をしてください。

現在、飯田会員が新世代奉仕の方へ出向されておりますので、詳しくはそちらに聞いて頂いた方がいいかと思っております。最後に、ロータリーの新世代奉仕に是非ご参加下さいということでしたので、皆さん、出来るだけ参加して頂きますようよろしくお願い致します。

#### ■樺澤次年度ロータリー 財団委員長



地区協議会のロータリー財団部門の報告をさせていただきます。最初に浅川パストガバナーが委員長としての開会のご挨拶に始まり、地区副委員長及び小委員長から順次に説明がありました。

まず、「ロータリー財団は、ロータリアンからの寄付を原資として、ロータリーが果たすべき、種々の人道的、教育的奉仕活動を行う組織であり、ロータリー財団の使命は、ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解・親善・平和を達成できるようにすることである。」と、財団の役割の説明から始まりました。

続いて、年間スケジュールの説明がありました。この説明の中で、当クラブで留意することは、2014-2015年度の地区補助金及びグローバル補助金の申請は今年の7月から今年の9月末日までであり、今年の9月には、まだ次々年度の社会奉仕委員長及び国際奉仕委員長が選任されていないことで、対応を今から考える必要があると思います。なお、次年度から新地区補助金制度がスタートしますので「新」がとれて地区補助金となりました。

また、ロータリー財団プログラムとして、教育的プログラム、人道的プログラム及びポリオプラスプログラムなどがあり、ロータリー財団への寄付は年次寄付(3年間据え置いて財団活動資金として使用し、運用益を財団運営費とする)、恒久基金寄付(元金は積立て、運用益のみを財団活動資金として使用する)及びポリオプラスなどの用途指定寄付など、また、寄付はすべて奉仕活動に利用されること、年次寄付、恒久基金寄付、ポリオプラスなどは税制上の優遇措置の対象であることの説明がありました。

さらに、ロータリー財団が2017年に創立100周年を迎えることを踏まえた「未来の夢計画」の目的として、財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること、意思決定権をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルでロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めることであること、グローバル補助金、地区補助金について説明がありました。

引き続き、国内外での協力・平和・紛争解決を推進するリーダーを育成するロータリー平和フェローシップ、奨学生・財団学友、ポリオプラス、と順次に説明があり、2013-2014年度 野村会長からご説明のありましたように、2013年1月から3月20日までのポリオ症例の発生は

アフガニスタン、パキスタン及びナイジェリアのみとなり、地球上から99%以上撲滅されたということです。ポリオプラスのプラスは、世界中の幼児の健康を守るために、ポリオの他、はしか、百日咳、ジフテリア、破傷風、結核の予防接種を推進することです。

最後にロータリー財団への寄付ですが、主な基金として、年次プログラム基金と、恒久基金とポリオプラス基金などがあることは先にお話し申し上げたとおりです。

そして、年次プログラム基金は「毎年あなたも100米ドル」といわれている年次寄付で、会員の皆様よくご承知の寄付ですが、資金推進委員会のお願いとして次年度から「会員一人あたり150米ドル」、また、「恒久基金への寄付は一人30米ドル」とのことでした。しかしながら、年次寄付を100米ドルから150米ドルにするこの理由説明は全くありませんでした。

また、3月31日までの本年度のロータリー財団への年次寄付は、皆様のご協力の賜物で、目標値の93.94%となっており、多摩分区では目標値に対して122.48%の東京武蔵村山に次ぐ達成率となっております。

以上駆け足でご説明いたしました。地区協議会のロータリー財団部門の報告とさせていただきます。

#### ■野村(裕)次年度 米山奨学会委員長



地区協議会の米山奨学部門協議会に参加したので、その内容を報告いたします。

副委員長の清水英世氏(東京西北RC)の司会で進行しました。委員長の服部支朗氏(東京荒川RC)の開会挨拶の中で、「初めて米山奨学会を担当される人は挙手して下さい」との問いに対して、約7割の参加者が初めてということで手が上がりました。役員紹介では、野崎一重会員が引き続き副委員長として紹介され、心強い次第でありました。

宮崎幸雄氏(東京RC)がカウンセラーとして挨拶されました。宮崎氏は「バスターガバナー経験のないカウンセラーは初めてのケースですが、事務局長を長く経験したのでそれを生かしていきたい」とおっしゃっていました。

まず、DVDにて事業の現状の紹介がありました。このDVDは貸出、無料配布とも可能ですので、これから先、機会を作って皆さんに見てもらおうと思います。これを受けて米山奨学金事務局長 坂下博康氏から、事業内容と寄付金の状況について詳しく30分ほど説明がありました。

- 1)初めての委員が多いこともあり、米山記念奨学会の歴史や主旨を説明された
- 2)1967年設立の歴史ある財団法人(2012年公益財団法人)で民間最大の留学生支援団体として、将来日本と世界の架け橋となって社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成している
- 3)世話クラブ カウンセラー制度があり、奨学金を支給するだけの団体ではない
- 4)寄付金が減ってきており、2011年は財産取り崩しをして奨学金を賄った

今後取り崩さずに事業継続するために、奨学生を800人から700人に減らす  
2011年度寄付金実績、会員1人平均約14千円(普通+特別)を増やさせてほしい

次に、韓国から来ている既に9年在日の米山奨学生イガン氏の卓話がありました。

最後に、服部委員長より年間スケジュールの説明がありました。改まった委員会方針はありませんが、米山奨学事業は事業の使命を継続させることが方針ですので、つまり奨学事業と世話クラブ カウンセラー制度を受け継いでいくと言うことの中で、ロータリアンとして奨学事業の意義を実感し、視野を広める機会にしていこうということであると理解した次第です。

#### ■点鐘：中丸会長